

西淀川区における府会・市会議員選挙の結果について

4月7日実施の大阪府議・大阪市議選において、西淀川区では市会に北山良三、府会に門谷みちおを擁立し、「区民にとって宝の議席、北山さん議席を必ず取り戻そう」「維新の教育こわしは許せない」と府会にうってでた門谷さんの決意に応えよう」と、必勝を期して奮闘しました。

しかし、前回よりも得票を減らし敗れるという残念で悔しい結果となりました。ご支援いただいた区民のみなさまのご期待にこたえることができなかったことを心からお詫び申し上げます。同時に、選挙勝利のためにご奮闘いただいた支持者、後援会員、党員のみなさんに、心から感謝いたします。

日本一高い高齢者の介護保険料や高すぎて払えない国保料。不況に苦しむ中小企業や商店への支援を冷たくカット。府立高校や市立保育所をつぶし、子どもたちには激しい競争と管理教育のおしつけ。人の不幸でもうけるカジノ誘致にばく大な税金投入や、大阪市をなくしその権限と財源を1人の指揮官に集中する「都構想」のたくらみ――私たちは、この維新政治との対決を正面にすえ、「都構想・カジノをやめてくらし最優先の政治を西淀川から」を中心スローガンにすえて訴えてきました。この訴えに共感が広がったことは間違いありません。

維新の会は、「都構想」住民投票をめぐって公明党の協力を得られないからと、知事・市長のダブル選挙を仕掛け、わが党が「反都構想」の共同の立場から小西ただかず知事候補と柳本あきら市長候補の自主的支援を表明すると、「野合」攻撃に終始、自らを「改革勢力」として描きだす巧妙な戦略をとる、維新への大きな「追い風」をつくりだしました。さらに西淀川区では終盤、維新の勢いに恐れをなした自民・公明が、維新政治との対決を避け、共産党の票のかすめ取りに狂奔しました。わが党は奮闘しましたが、維新への「風」や自民・公明の攻撃をは

2019年4月8日 日本共産党西淀川区選対本部
ねかえして勝利するには、あきらかに自力が不足しておりました。

西淀川区では、府会市会あわせて4議席のうち維新2、自民1、公明1となりました。大阪全体でも、日本共産党は府会で2議席にとどまり、市会では定数減の中、9から4議席への大後退というきびしい結果になりました。だからこそ、私たちは選挙戦で訴えた公約の実現をにかけて全力をつくします。年内に「都構想」住民投票が実施されることになれば、その害悪を誠実に訴えて阻止をにかけてがんばりぬきます。そしてそのためにも、日常的に要求実現活動や後援会活動にとりくむ中で、有権者のみなさまとの揺るぎない信頼関係を強め、党の自力を抜本的に強化していく決意です。

さしあたって、4月21投票の衆院12区補欠選挙での宮本たけし氏の勝利、さらに7月の参議院選挙で大阪選挙区・たつみコータロー議員の再選と、比例代表選挙での躍進をめざし全力をあげます。引き続き大きなご支援を心からお願いいたします。



北山良三



門谷みちお

市会議員選挙

山田はじめ	維新	14,632	当
ささき哲夫	公明	10,117	当
荒木幹男	自民	9,140	当
北山良三	共産	8,303	

府会議員選挙

中川せいた	維新	18,337	当
岩見幸星	自民	15,816	
門谷みちお	共産	7,659	

大阪市長選挙

松井一郎	維新	23,497	当
柳本あきら	無所属	18,816	

大阪知事選挙

吉村洋文	維新	25,010	当
小西ただかず	無所属	17,369	